

【LINE】LINE、サイバー防災の日から「LINE サイバー防災訓練」を初実施し、3日間合計で参加人数320万人突破

2017.06.13 ALL

9月8日まで体験可能。セキュリティ意識を高め、対策を学ぶことで、安心・安全な利用を促す。

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、“サイバー防災の日”として今年5月に記念日登録した6月9日（金）より、同社が運営するコミュニケーションアプリ「LINE」内において、「LINE サイバー防災訓練」を実施しております。

サイバー防災の日

■ 「LINEサイバー防災訓練」 サイト <https://cyber-bousai.line.me/>



“サイバー防災の日”は、スマートフォンやパソコンなどを通じてインターネットサービスを安心・安全に利用するために、インターネット上においても防災意識を持つ必要性を喚起する日です。“サイバー防災の日”当日である6月9日からは、「LINE サイバー防災訓練」と称したキャンペーンを通じ、アカウント乗っ取り被害を疑似体験することでリスクを知り、対策を学ぶことが出来ます。対策は実践しやすいよう、記憶に残るキーワード「防災のお・か・し」としてご紹介いたします。全国で月間利用者数6,800万人（2017年3月末時点）が利用する「LINE」アプリを通じて、全国どこからでも気軽に参加できることも特徴です。

※LINE サイバー防災訓練の詳細・実施概要はプレスリリース(<https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2017/1757>)を参照ください。

6月9日（金）から「LINE サイバー防災訓練」を開始したところ、6月9日（金）から6月11日（日）の3日間合計で、「LINE サイバー防災訓練」の体験ムービーの参加人数※1は320万人以上（6月11日23：59時点）となっています。

※1 体験型ムービーページ訪問者数（UU）

また、ソーシャルメディア上では「自分と、友達のアイコンとか名前とか色々出てきて凄いリアル。。乗っ取り怖い…気を付けないとね。」「サイバー防災訓練。LINE以外のSNSでも実施して欲しい。出来れば定期的に。」など、セキュリティ意識向上がうかがえるコメントが見られました。

LINEは、セキュリティ意識啓発や対策においても、LINEのサービス・インフラを活用した活動等を行ってまいります